

---

## H29 年度蔵前ゼミを始めるにあたり

太田 幸一（1968 電気，70 電気 MS）元富士通エフ・アイ・ピー社長，蔵前工業会神奈川県支部長

---

「皆さん，進学・入学おめでとう。東工大の教育と組織が大きく変わったことから時代の変革を実感していることと思います。蔵前ゼミが掲げる旗と今回の教育改革で中心的役割を担ったリベラルアーツ研究教育院が目指すものには共通点があります。言葉にすると、「理工系の知識を社会へつなぐための知性と人間性を養い」，特に大学院では「仲間の能力を最大限活かしながら目標に向かってチームを導くリーダーシップ力」が身に付くようなカリキュラムになっているようですので頑張ってください。このゼミでは，皆さんがキャリアパス（進路イメージ）を描く手伝いをしたいと思います。

私たちの現在位置を確認する意味で，ビジネスの世界の現状を見てみよう。① 進歩が速く，グローバルでないと生き延びられない：(1) 日本勢が頑張っていた「ガラ携」は淘汰され；(2) コンピュータはメインフレーム，PC，タブレットへと姿を変え，さらにクラウドコンピューティングが台頭するにつれ，耳慣れた企業名が聞かれなくなり，Amazon や Google などが主要プレイヤーになりつつある；(3) 通信分野にしても，ベル研究所の流れをくむ名門ルーセントが成長見込めない電話交換機に執着したり，ネットに乗り遅れたりで凋落し，今ではノキア（Finland），エリクソン（Sweden），ファーウェイ（中国）に道を譲っている。② 社会的責任（CSR, Corporate social responsibility）をおろそかにした企業は滅びる：(1) フォルクスワーゲンは排ガス不正によって，2兆円もの賠償金を払わされているし；(2) 三菱自動車は燃費データの改ざんで経営が苦しくなり，日産の傘下に入った；(3) 東芝の不正会計の衝撃は大きくなるばかりで会社の存続が危ぶまれるまでになっている。③ グローバル展開の難しさ厳しさは加速度的に増している：(1) 郵政が，買収した豪州子会社の業績低迷のあおりを受けて，400億

円もの損失を計上；(2) 東芝傘下のウェスチングハウスがその子会社をコントロールし損ねて，1兆円近い損失を出している；(3) 日本板硝子の経営陣は，グローバル企業に変身するために海外企業の大規模買収を敢行したが，その失敗の責任を問われ損害賠償を求められている；(4) 武田薬品は，稼ぎ頭の一つだった糖尿病治療薬「アクトス」の発がんリスクをめぐって米国で訴訟を起こされ，科学的根拠とは別の観点から，3000億円もの和解金を払って早期に係争を決着する道を選択せざるを得なかった。

このような状況下で企業はどのような人材を求めるといふと、「グローバルセンス・ダイバーシティに対する感性・コミュニケーション力などを持ち合わせており即戦力になる人」となりますが，実際には“プロ意識”さえあれば十分にやっていますので，本年度の蔵前ゼミでは，なるべく皆さんに近い世代の講師を招いて，皆さんがプロフェッショナルになる助けになるような話題を提供していきます。ゼミ後の交流会では，経験豊かでそれぞれの人生観を持った先輩たちが相手をしてくれますので，友人や研究室の仲間を誘って参加してください。軽食も出ます。（2017.4.28）